

12月6日

第411回 市議会定例会

本市においても、11月26日に開催された南国市行政計画審議会において、人口ビジョンと第2期『南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の基本的方向性が審議されました。今後、12月に示される国の総合戦略と高知県の検討内容を勘案のうえ策定作業を進め、来年2月には素案を審議会にお諮りし、パブリック・コメントを経て、3月市議会定例会に報告したいと考えています。

地方創生は、人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域が活力を取り戻す息の長い政策です。第1期における成果と課題を十分に見極め、将来における本市の活力維持を達成すべく、市をあげた取組を継続していきます。」と述べた後、主要な課題について報告しました。

(内容はあらしです)

平山耕三市長は、12月6日開会の第411回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「10月1日から消費税率が10パーセントとなり、2014年4月以来、5年半ぶりに税率が見直されました。今回の消費税率の見直しにあたっては、食料品などを対象とした軽減税率制度の導入のほか、幼児教育・保育の無償化や年金生活者支援給付金の支給など、国民生活を下支えする国の施策展開もなされています。米中貿易摩擦など、景気の下方リスクもあるなか、国民生活を下支えする国の施策には、本市も制度の周知を図り取組を進めていきます。

将来における人口維持に国をあげて取り組む『まち・ひと・しごと創生』については、来年度以降5か年の第2期総合戦略の基本方針が、第1期の枠組みを基本的に維持することを内容として、6月に閣議決定されました。

洪水浸水避難対策

洪水ハザードマップを改訂予定

10月29日、高知県は国分川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定を公表しました。この想定は、従来の計画規模の降雨として設定した降雨量を、想定しうる最大規模の降雨設定に変更し、千年に一度起こるかどうかの猛烈な豪雨によって決壊するという最悪の事態を想定したものとなっています。本市では、すでに公表されている物部川の洪水浸水想定と併せて、「物部川・国分川洪水ハザードマップ」の改訂を本年度中に行つたうえ、対象地域での学習会の開催など、迅速な避難につながる取組を進めていきます。

南国市コミュニティバス

地元タクシー会社による運行が開始

市内バス路線の新たな担い手として、地元タクシー会社によるコミュニティバスの運行が、10月1日、開始されました。路線数と便数を従来より拡充して、大きな混乱もなく運行されており、将来にわたって市民生活を支える公共交通の要となるものと考えています。

財政状況

財政収支の見込み

令和元年度からの3か年にわたる南国市中期財政収支ビジョンにより計画的な財政運営に取り組んでいるところですが、本年度決算見込みでは、基金の取り崩しも予想されるなど、厳しい財政状況となっています。来年度の財政収支の見込みは、国の仮試算によると、地方交付税は消費税率10%への引き上げなど交付税の原資となる国税収入の伸びが見込まれることなどから、本年度比40%増の伸びとなっているものの、本市においては法人市民税の減少など市税収入の伸びに陰りが見えてきており、市税収入全体の減少も見込まれます。

一方、歳出においては、人事院勧告による給与増や会計年度任用職員制度の施行に伴う人件費の増加、また、高齢化に伴う社会保障給付費の自然増に加え、消費税10%への引き上げに伴う社会保障の充実分と合わせて、幼児教育無償化など子育て関連経費も引き続き増加することが見込まれます。

このような厳しい状況の中、令和2年度予算編成では、第4次南国市総合計画に掲げた5つのまちづくりの基本目標に対して予算を重点配分するとともに、引き続き歳入歳出の見直しを図り、予算編成を行います。

市制施行60周年

記念式典を開催

市制施行60周年記念事業については、10月1日に記念式典を、多くの市民及び関係者に出席いただき、盛大に開催しました。

マイナンバーカード

11月に専任の職員を配置するマイナンバーカード窓口を市民課に設置し、申請支援と交付対応の体制を整えました。9月以降、マイナンバーカードの交付申請は増加しており、10月末時点での交付申請率は9.9%となっています。令和3年3月には、医療機関窓口などでマイナンバーカードにより被保険者資格を確認できるオンライン資格確認が開始されます。マイナンバーカードの普及については、地域への出張支援を行うなど、引き続き、取組を進めていきます。

学校教育

姉妹都市・岩沼市小中学生を受入

10月24日から3日間、岩沼市の小中学校代表児童生徒12名の訪問を受け入れました。後免野田小学校での防災学習など、両市の未来を担う子どもたち同士の新たな交流の歴史を刻むことができました。

民生委員・児童委員

民生委員児童委員については、今年が一斉改選の年であり、12月1日から3年間の任期で、民生児童委員1253名主任児童委員10名が活動を開始されています。今後とも、地域の生活課題を早期に見出し支援するため、民生委員・児童委員との連携を図っていきます。

上水道

未普及地域解消

水道未普及地域解消については、福船、岡豊町中島地区において今年度の配水管布設工事を完了し、堀ノ内地区については配水管布設工事を発注しました。

特別教室へのエアコン設置

学校の環境整備については、予定していた市内小中学校の特別教室へのエアコン設置工事を完了しました。

(仮称)南国日章工業団地

現在整備中の(仮称)南国日章工業団地については、令和3年度中の分譲開始に向けて、今後、本格的な造成工事を実施します。

ナンコクフェスティバル

高知東工業高校を会場に開催

10月27日、県立高知東工業高等学校を会場に「第2回ナンコクフェスティバル」を開催し、約3千人の来場者でにぎわいました。このイベントは、「ものづくり」とおとした市の活性化に向けた取組について、地域の意識醸成や啓発、市内外への発信を目的として実施しています。

今回は、「見て、知って、体験する」をテーマに、海洋堂、造形作家の作品展示や販売のほか、ミニジオラマ教室、プラモデル教室、小物、アタセサリ、陶器、木工作品など様々なものづくり体験ができる内容として実施し、市内外から参加されたファミリー層を中心に好評でした。

住宅耐震化促進

建築士による戸別訪問を実施

住宅耐震化の促進については、9月から、立田、福船、陣山、西山、下末松、上末松、三島、比江、及び国分地区で、建築士が住宅耐震改修の必要性、支援制度等の説明を行う戸別訪問を実施するなど、耐震改修の実施率向上に努めています。

消防

緊急通報システムの整備

緊急通報の利便性向上については、6月に運用を開始した多言語翻訳サービスに続き、11月から、音声による緊急通報が困難な方のためにスマートフォン等を使用して通報が行える「ネット119緊急通報システム」を県下一斉に導入しました。

土地区画整理事業の進捗

篠原土地区画整理事業については、第1工区内の造成工事が完了した箇所について、10月より、順次地権者へ土地の引き渡しを実施しています。第2工区及び第3工区については、引き続き埋蔵文化財発掘調査との調整を図りながら、区画道路宅地造成、上水道、及び下水道工事を実施し、来年度の土地引き渡しに向け進捗を図っていきます。

都市計画

都市計画マスタープラン改訂

平成28年度から改訂作業を進める都市計画マスタープランの素案について、10月1日から10月15日までの2週間縦覧を実施するとともに、10月9日には住民説明会を開催し、市民に広く意見を求めました。今後、都市計画審議会に諮つたうえで改訂作業を完了させ、本年度中に公表できるように進めていきます。

健康づくり

健康なこく☆きらり☆フェアを開催

11月23日に市立スポーツセンターで「健康なこく☆きらり☆フェア」を開催しました。市制施行60周年記念事業として「〜みんなアデ元気と活力を貯めよう〜」をテーマに、従来の健康相談や測定コーナーに加えて、「健康づくり講演会」の開催のほか、高齢者メーク講座、認知症カフェ、起震車体験、東京2020オリンピック紹介などの新たなコーナーを設置し、多くの来場者に体験していただきま

子育て支援

10月から開始された幼児教育保育の無償化については、無償化の対象とならなかった副食費について、市が負担することにより、保護者の負担軽減を図っています。

令和2年度の教育・保育施設等への新規申込みについては、11月22日から受付を開始しており、二次募集分については、来年中旬までに保護者に通知を行う予定です。放課後児童対策については、10小学校に2棟目の学童クラブ専用施設の建設を行っており、来年3月の完成を予定しています。